

1 活動結果

「システム標準化に関する政令市特有の課題等」について以下のとおり意見交換を実施しました

- 実施日  
令和 4 年 9 月 29 日 (木)
- 相手方  
河野 太郎 デジタル大臣
- 参加者  
久元 喜造 神戸市長 (指定都市市長会会長市長)  
永藤 英機 堺市長 (デジタル化推進担当市長)  
山中 竹春 横浜市長



- デジタル大臣の発言など

提案項目	デジタル大臣からの発言
移行期限の柔軟な対応	・令和 7 年度末という期限については変更せず、目標を達成するためにどうするか、しっかり取り組むべきと考えている。
指定都市要件の標準仕様書への反映・精度の高い標準仕様書の早期完成	・標準化は最重要課題。指定都市とスクラムを組んでしっかりと進めていきたい。 ・標準仕様について、国・指定都市・事業者の 3 者による新たな検討の場をすぐにでも設置したい。 ・20 業務の仕様検討について指定都市が 1 市、2 市入るのではなく、20 市が入ってまとめていく必要があるのではないか。 ・インフォーマルな形でも構わないので、指定都市の標準化について今回の 3 市長との間で定期的な意見交換の場を持ちたい。
指定都市対応・体制確保等について事業者に対する国からの働きかけや支援	・標準化の推進に必要な予算措置については、国として最大限配慮したい。 ・事業者への働きかけも、国として積極的に行っていきたい。
全ての自治体において必要となる機能、設備の一括導入・整備・運用	・全ての自治体において必要となる機能や設備を国が一括して、という話については、どこまで国が一括して調達できるかは調べた上で、国でまとめてやった方が良い部分はきっちりやっていきたい。

2 今後の予定について

- 大臣から「国・指定都市・事業者の 3 者による新たな検討の場をすぐにでも」という話があったことを踏まえ、デジタル庁から検討スキームの提示がありました。
- 現在、指定都市に必須の機能として記載すべき項目等を標準仕様書へ反映するため、国・指定都市・事業者の 3 者が参加する検討会の設置に向けて、各政令市の情報管理事務主幹部局を通じてデジタル庁と協議を進めています。